

〇〇市御中

地域通貨の発行による 市内経済の活性化提言

〇〇を適当な地域に読み替えて、解釈してください。

富の流出とは？

現状は

〇〇から徳島市へ、徳島県から京阪神へ、
買い物やレジャーが吸い取られている。



市内経済の疲弊



これからは

〇〇市内で、交易が完結するよう
買い物メリットのある施策が必要。



市内循環経済の活性化



地域通貨の発行による
市内経済の活性化

地域通貨とは？

1. 地域通貨とは？

コミュニティ・ボランティア・地域経済などの活性化のために一定の地域やコミュニティにおいて自主的に発行するお金のこと



2. そもそも通貨とは？ - 通貨の機能

① 価値の尺度

② 交換の媒体

③ 価値の保存

④ 価値の増殖※

※ロスチャイルドが利子・複利を発明し付加した機能。現在の世界経済はこの上に金融工学(デリバティブ)という天文学的な数字の利殖増大テクニック(詐欺)がパンク寸前になっている。

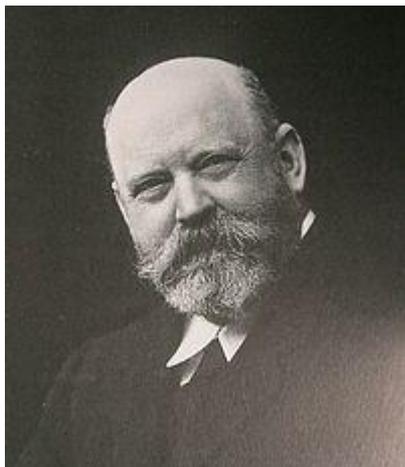
※世界の諸悪の根源は「利子」。ロスチャイルドの搾取のみならず。リビアのカダフィ政権では「無利子」であったため、こういう「無利子」の世界があつては困る勢力が攻撃した。

地域通貨が果たす機能はこれ。

価値をつけて交換するためだけの

もっともシンプルな形。銀行屋の搾取もない。

地域通貨には利子がない。これが大切



拝金主義にみられる貨幣の弊害は、ロスチャイルドが発明した「利子」という発想である。

「原始キリスト教」や「イスラム教」では、「利子」を取る事を禁止していた。「利子」というのは、本来存在しないお金である。

しかし、「ユダヤ教」だけは、「選民思想」というものがあり、「ユダヤ人以外の他の民族からは「利子」を取ってよい」とされた。

今の金融システムは、一部の人間達が「利子」という名目で多くの人々から富を吸い上げ、その富の力によって世界を支配している。そのために戦争が起きようが、原発が爆発しようが、環境破壊が進もうが、彼らにとっては関係無いのである。



世界を支配する金融屋に、地域の自立を委ねないことが大切。

対策は

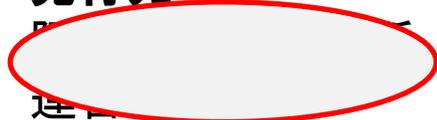
- ①地域通貨を流通させ、今出回っている銀行券なるものの割合を徐々に下げていく。
- ②地域住民の貨幣価値を地域でまわして、相互に恩恵を分かち合う。

〇〇地域通貨の概要 (案)

単位: 〇



発行元



地元の商店街でのお買い物や、ご近所づきあいやボランティアへのちょっとしたお礼に使っていただくことで、ほんの少し〇〇のまちが活気づくお手伝いができます。

1. 〇〇市限定(限られた場所で流通)

2. 行政の援助を受けてスタート

<将来的にはコミュニティ内で法定通貨が必要ない取引を目指していく>

3. 金融崩壊により、日銀券の交換が停止しても、〇〇地域通貨があれば、市内での日常品交易レベルの補完ができる。

〇〇地域通貨の利用イメージ

(事例) 〇〇町を起点とした交易とその決済機能



〇〇市内での地域完結社会にむけて

●世界金融崩壊がおきると……



●石油の輸入停止で、交通・物流が停止し、中央集権型の国家社会構造が崩壊する



●世界分散型の大量消費社会は終わり、徒歩圏内での地域経済に戻る



●都市部では食糧危機が深刻化するが、政府の配給機能も稼働せず強奪がおきる



●地域社会では、農と直結した自給型コミュニティだけが、食糧を維持できる



●混沌過渡期の地域社会では、エネルギーに依存しないローテクが復興する
・かまど、・五右衛門風呂、・リヤカー、・自転車、・大八車、・わらのむしろ、・わらぞうり
・し尿の堆肥化、・ごみ焼却ではなく生ゴミのEM堆肥化など



●地域社会での各種ローテク産業（手工業）の復興と交易のためにも
地域通貨があると非常に便利



●従来のように産地分散、流通複雑化した社会ではなく、顔の見える社会、
昭和初期の村社会にあった産業が復興するイメージ

(〇〇市内で生産から交易、消費(リサイクル)まで完結する社会へ)

徳島県内「地域通貨」の流通状況

徳島県

- 徳島市／時間通貨・ありがとう([NPO法人なのはな徳島](#))
2003年5月から時間基準の通帳型で開始
- 徳島市／時間通貨・ありがとう(有)りんごサービス)
2004年8月から時間基準の通帳型で開始
- 美馬市／時間通貨・ありがとう(ありがとう)
市内脇町で2005年から時間基準の通帳型で開始
- 美馬市／ほらん(とくしま森とみどりの会美馬地区委員会)→[参考](#)
2006年8月から「県民参加の森林づくり事業」のボランティアに1日500(ほらん(500円相当)を紙券で発行。指定地元観光施設や特産品購入に使える
- 木頭村／[ゆーず](#)(株)きとうむら)
2002年8月から特産物の柚子本位制地域通貨で、紙幣式とスタンプ式で開始。
- 石井町／時間通貨・ありがとう([NPO法人あかねの和](#))
2003年5月から時間基準の通帳型で開始
- 上那賀町／時間通貨・ありがとう(ひだまりの会)
2004年7月から時間基準の通帳型で開始
- 藍住町／ありがとう([NPO法人さわやか徳島](#))→[参考](#)
2000年4月から時間基準の通帳型で開始
- 藍住町／時間通貨・ありがとう(藍の里)
2003年4月から時間基準の通帳型で開始
- 阿波町／あわあ(阿波町タイムダラー研究会)→[参考TD](#)
2000年12月からタイムダラー紙券方式で開始